

■野球部年表【大正期】

1912(大正元)年～1926(大正 15)年

西暦(年号)	月日	項目	出典
1912(大正元)年	一月一日	安部磯雄、嘉納治五郎らと大日本体育協会を設立。	
1912(大正元)年	9月23日	対明大、1-0で勝利。(明大中野)	【二十五年史】
1912(大正元)年	09月一日	安部磯雄著「現代戦争論」刊(博文館)	【安部年譜】
1912(大正元)年	09月一日	選手2チーム制をとる。(部員多数の為)	【二十五年史】
1912(大正元)年	10月5日	対明治、4-1で敗北。この試合、9回に早大は増田・浅沼の両代打者を起用。 代打のはじめ	【二十五年史】
1912(大正元)年	10月12日	対明大、4-1で勝利。(柏木運動場)	【二十五年史】
1912(大正元)年	10月19日	対明大、4-1で勝利。(戸塚)	【二十五年史】
1912(大正元)年	10月26日	対明大、2-1で勝利。(柏木)	【二十五年史】
1912(大正元)年	11月3日	対明大、4-2で勝利。(戸塚)	【二十五年史】
1912(大正元)年	11月11日	対明大、9-1で勝利。(柏木)	【二十五年史】
1912(大正元)年	11月16日	対明大、3-1で勝利。(戸塚)	【二十五年史】
1912(大正元)年	11月30日	対明大、3-2で勝利。(戸塚)8勝1敗	【二十五年史】
1912(大正元)年	一月一日?	早稲田大学出身でシカゴ在住の三神八四郎、日本で硬式テニス採用を雑誌『 武俠世界 』で主張。	【鳴海正泰『テニス明治誌』】
1912(大正元)年	一月一日?	”オール・ネーションズ”がアイオワ州デモインで誕生。メンバーに『 ジャップ・ミカド 』と呼ばれた日本人がいた	
1912(大正元)年	一月一日?	対横浜商業、3勝1敗。	【二十五年史】
1913(大正 2)年	1月25日	安部磯雄著、早大第10回政治学会にてノルマン・エンゼル「現代戦争論」につき研究発表。エンゼルが絶対平和主義を主張しなかったことを惜しんでいる。	【安部年譜】
1913(大正 2)年	2月1日	第一回極東オリンピックがマニラで開催。明大野球部が全フィリピンチームと対戦。	【真説・大正編】
1913(大正 2)年	2月3日	第一回東洋オリンピック大会で明大野球部が優勝。	【大阪毎日】
1913(大正 2)年	2月19日	慶應義塾大学庭球部が硬球を使用する。	
1913(大正 2)年	4月19日	対明大1回戦、14-3で勝利。(戸塚)	【二十五年史】
1913(大正 2)年	4月27日	対明大2回戦、5-2で勝利。(柏木)	【二十五年史】
1913(大正 2)年	5月1日	関西最初の球場、大阪・豊中野球場が開場。	
1913(大正 2)年	5月4日	対明大3回戦、5-4で勝利。(戸塚)	【二十五年史】
1913(大正 2)年	5月8日	極東オリンピックの覇者明大が帰国後慶応に連敗。早慶に通算五連敗に。	【真説・大正編】
1913(大正 2)年	5月10日	対一高、9-0で勝利。(戸塚)	【二十五年史】
1913(大正 2)年	5月17日	フィリピン土人野球団来日、2勝1敗。対全ヒリッピン商人チーム(東京運動記者倶楽部斡旋にて来日)、5-2で勝利。(柏木)	【二十五年史】
1913(大正 2)年	5月21日	対ヒ2回戦、3-0で敗北。(柏木)審判に三神。	【二十五年史】
1913(大正 2)年	5月25日	対ヒ3回戦、2-0で勝利。(柏木)	【二十五年史】

1913(大正 2)年	5月27日	(~6月22日)スタンフォード大、来日(慶応の招聘)	
1913(大正 2)年	8月25日	対学習院、6-0で勝利。(目白)	【二十五年史】
1913(大正 2)年	9月5日	対明大、3-1で敗北。(柏木)	【二十五年史】
1913(大正 2)年	9月11日	(~10月5日)ワシントン大学招待、早稲田は1勝1敗1分け。(13日から早慶明と戦う)	
1913(大正 2)年	9月16日	対ワシントン大学(シアトル)1回戦12-2で敗北。(柏木)	【二十五年史】
1913(大正 2)年	9月24日	対ワ2回戦、8-3で勝利。(柏木)	【二十五年史】
1913(大正 2)年	9月26日	慶応対ワシントン大学二・三回戦と、我が国最初の連続放棄試合。両軍のルール解釈の相違。	【真説・大正編】
1913(大正 2)年	9月29日	対ワ3回戦、7-7の引き分け(柏木)	【二十五年史】
1913(大正 2)年	10月17日	「早稲田大学教旨」制定。創立30周年記念式典実施。建学理念を継承・発展させた教旨を宣言。校旗、式服・式帽制定。	【早大略年】
1913(大正 2)年	10月22日	早大創立三十周年記念野球大会。対明大5-3で勝利。(戸塚)	【二十五年史】
1913(大正 2)年	10月--日	安部磯雄、創立三十年記念校外教育講演。「独占事業論」	【安部年譜】
1913(大正 2)年	10月--日	対ワ4回戦、6-2で敗北。(大阪豊中)	【二十五年史】
1913(大正 2)年	11月26日	対明大3回戦、3-0で勝利。(柏木)	【二十五年史】
1913(大正 2)年	12月5日	(~12月9日)ジャイアンツ、ホワイトソックス合同で来日初のメジャー来日	
1913(大正 2)年	12月6日	米大リーグ混成の世界1周野球チーム来日し、慶応グラウンドで模範試合。米大リーグ来日の初め。ホワイトソックスがジャイアンツに勝つ。9対4。	【真説・大正編】【東京日日】
1913(大正 2)年	12月7日	5日に来日した世界一周アメリカ大リーグの2チームが、三田の慶應義塾グラウンドで模範試合を行う。	
1913(大正 2)年	--月--日	三神五郎(甲府中)イリノイ州ゲイルズバーグのノックスカレッジ入学。翌年野球部キャプテンとなる。夏期休暇中、独立プロチーム「オール・ネイションズ」に参加。ジャップ・ミカドと呼ばれる。(日本人初のプロ野球選手)(1912年か?)	【二十五年史】
1913(大正 2)年	--月--日	文学史学科を史学及び社会学科と改制。	【HP学内】
1914(大正 3)年	3月28日	(~6月17日)慶応、第2回訪米03月28日:慶大、スタンフォード大学の招待でアメリカへ遠征に出発。横浜港出航。	【真説・大正編】
1914(大正 3)年	04月--日	安部磯雄著「土地国有論」刊(科学思想普及会)	【安部年譜】
1914(大正 3)年	5月2日	諒闇中の事故(照憲皇太后)練習試合の名目の下、対明大1回戦、4-3で敗北(戸塚)	【二十五年史】
1914(大正 3)年	5月9日	対明大2回戦、3-0で勝利。(柏木)	【二十五年史】
1914(大正 3)年	5月18日	対明大3回戦、11-2で勝利。(戸塚)	【二十五年史】
1914(大正 3)年	6月17日	(~10月9日)明治大、初渡米。横浜港出航。戦績、56戦26勝28敗2引分け。	【真説・大正編】
1914(大正 3)年	7月2日	渡米明大野球部、シアトルでシヤトル基督青年会選抜野球団との第一戦に勝つ。	【東京日日】
1914(大正 3)年	08月--日	安部磯雄著「労働問題及びサンディカリズム」刊(文明協会)	【安部年譜】

1914(大正 3)年	9月12日	シアトル日本人野球団来朝。早大は2勝1敗。(9/21?)	【二十五年史】
1914(大正 3)年	9月21日	(~10月22日)シアトル日本チーム来日	
1914(大正 3)年	10月10日	シアトル朝日クラブ(シアトル在留日本少年)と戦う。6-0で勝利(戸塚)	【二十五年史】
1914(大正 3)年	10月29日	早慶明野球連盟結成。明治44年12月に発した慶應への絶縁状を取り消し、明大は極力早慶戦の復活に力を貸すことを誓う。早慶戦中止のまま、早慶明野球連盟結成され、早慶明戦が東都の人気を集める時代が始まる。更に翌大正四年法政が参加、十年には立教が加わり、十四年には早慶戦も復活、六大学野球連盟結成の気運が醸成されてゆく。これが東京六大学野球リーグの前身となる。	【安部年譜】【時事】 【真説・大正編】
1914(大正 3)年	10月30日	野球早慶戦復活を明治が斡旋、と東京日日が報ず。	【東京日日】
1914(大正 3)年	11月2日	慶明野球第一回戦(学生初の入場料徴収試合)は1-0で明大が勝つ。	【時事】【真説・大正編】
1914(大正 3)年	11月14日	対明大1回戦、4-1で勝利(柏木)	【二十五年史】
1914(大正 3)年	11月16日	対明大2回戦、5-4で勝利(戸塚)	【二十五年史】
1914(大正 3)年	11月--日	安部磯雄、田原栄逝去により高等予科長事務取扱。	【安部年譜】
1914(大正 3)年	12月--日	奈良冬期練習。奈良公園春日野運動場。赤堀(旧姓舟木)秀雄の斡旋による。	【二十五年史】
1914(大正 3)年	--月--日	三神吾朗、米プロ野球団オール・ネイションズでプレイ、日本人第一号プロ選手となる	
1914(大正 3)年	--月--日	大隈重信総理大臣に就任。	【HP学内】
1914(大正 3)年	夏-----	軽井沢にて外人チームと3戦(全勝)。明治41年ごろから外人が軽井沢に招待。(軽井沢グラウンドへの布石となる)	【二十五年史】
1915(大正 4)年	1月16日	第2回マニラ遠征(引率者なし)。2/1~8まで6試合。1勝4敗1分。	【二十五年史】
1915(大正 4)年	4月20日	慶應義塾野球部選手に落第者が続出したことが新聞で報道される。	
1915(大正 4)年	4月25日	対明大1回戦、5-4で勝利(戸塚)	【二十五年史】
1915(大正 4)年	04月--日	安部磯雄、高等予科長に就任。(【五十年史】では1914年10月)。予科長として最初の始業式訓示に、クラス生活をもって立憲的修養の場とすることを強調している。	【安部年譜】
1915(大正 4)年	04月--日	安部磯雄、政治学会例会にて我国労働問題の現況につき研究発表。政治学会例会は毎回恩賜記念館で開かれ、学生教授の研究の交換が行われた。この時は「いかにしてわが労働者の利害を代表しむべきか」のテーマの下に安部、塩沢、永井等が論じている。	【安部年譜】
1915(大正 4)年	5月5日	対明大2回戦、3-1で敗北(柏木)	【二十五年史】
1915(大正 4)年	5月6日	競争部創立発会式。初代部長安部磯雄。「国際競技オリンピックに一選手もみざるは真に残念！」とその創立趣旨にある。	【安部年譜】
1915(大正 4)年	5月9日	対明大3回戦、10-4で勝利(戸塚)	【二十五年史】
1915(大正 4)年	5月16日	対一高、10-5で勝利(戸塚)	【二十五年史】
1915(大正 4)年	7月1日	全国中等学校野球大会の開催が決定。大阪朝日新聞社が「社告」を報ず。	【真説・大正編】

1915(大正 4)年	07 月一日	校外教育部夏期講習会。「社会政策・都市問題」。本邦ユニバーシティ・エクステンションの嚆矢として例年全国各地において盛会をきわめていた。因みに、この夏の計画表をみるに、北は北海道から南鹿児島み至る文字どおり日本全国に及び、派遣講師八十人に及んでいる。(校外教育部長高田早苗)	【安部年譜】
1915(大正 4)年	8 月 14 日	学長に天野為之、理事に塩澤昌貞、田中穂積、田中唯一郎就任	【HP学内】
1915(大正 4)年	8 月 18 日	第一回全国中等学校優勝野球大会開催。(優勝は京都二中)	
1915(大正 4)年	8 月 18 日	全国中等学校優勝野球大会開催にあたり、試合上の注意あれこれを大阪朝日が報ず。「試合前後の礼式」を規定。	【大阪朝日】
1915(大正 4)年	8 月 18 日	大阪朝日新聞社主催第一回全国中等学校優勝野球大会、豊中グラウンドで開催。	【朝日】
1915(大正 4)年	08 月下旬	対軽井沢外人、2 戦 2 勝。	【二十五年史】
1915(大正 4)年	08 月一日	安部磯雄、早大評議員に選任さる。	【安部年譜】
1915(大正 4)年	08 月一日	第一回中等学校野球大会の決勝戦。京都二中 2-1 秋田中学。優勝校等に多数の賞品。以後は一切廃止。	【真説・大正編】
1915(大正 4)年	9 月 10 日	法政大学との対抗試合を開始。対法政 1 回戦、23-3 で勝利(戸塚)	【二十五年史】
1915(大正 4)年	9 月 14 日	対法政 2 回戦、17-2 で勝利(戸塚)	【二十五年史】
1915(大正 4)年	9 月 21 日	シカゴ大学招聘。帝国ホテル宿泊。ライト教授。ページ(コーチ)夫妻。選手 11 名。(～10 月 22 日)	【二十五年史】
1915(大正 4)年	9 月 24 日	対シカゴ大 1 回戦、5-3 で敗北。10 月 9 日:第 2 戦、2-0 で敗北。13 日第 3 戦、1-0 で惜敗。16 日第 4 戦、5-0 で敗北。以上戸塚。大阪毎日新聞社の招聘で下阪。三戦したが、3-0、5-3、9-1 でいずれも敗北。慶応も 3 戦 3 敗。	【二十五年史】
1915(大正 4)年	12 月一日	(～1 月)豊中運動場にて冬期練習。宝塚松楽館泊。	【二十五年史】
1915(大正 4)年	一月一日	高田早苗文部大臣に就任。	【HP学内】
1916(大正 5)年	1 月 4 日	対明大 1 回戦、9-5 で勝利(豊中)	【二十五年史】
1916(大正 5)年	1 月 6 日	対明大 2 回戦、6-3 で勝利(春日野)	【二十五年史】
1916(大正 5)年	01 月一日	競争部拡張、投擲、跳躍等を加う。	【安部年譜】
1916(大正 5)年	2 月 15 日	大阪の茨木中学校に日本初の学校プールが完成する。	
1916(大正 5)年	02 月一日	大学講習演会。安部磯雄講演「保険国営論」。	【安部年譜】
1916(大正 5)年	02 月一日	和田、橋戸らを中心に、全国中等学校野球大会「野球規則」を作成。	【真説・大正編】
1916(大正 5)年	3 月 18 日	対明大 1 回戦、1-4 で敗北(戸塚)	【二十五年史】
1916(大正 5)年	3 月 19 日	対明大 2 回戦、7-5 で勝利(戸塚)	【二十五年史】
1916(大正 5)年	3 月 25 日	第三回渡米。監督河野安通志。ハワイより乗船予定の東洋汽船の地洋丸が上海沖で沈没した為、財政上にも打撃をこうむった。28 戦 9 勝 19 敗。7 月 17 日帰朝。	【二十五年史】【百年小史】
1916(大正 5)年	03 月一日	社会政策学会創立(会長北沢)。北沢新次郎を中心としてゼミナー教育の効果を上げつつあった社会政策読書会が発展してここに至る。同会第一回例会「貧民問題の研究」発表。	【安部年譜】
1916(大正 5)年	03 月一日	阪神、鳴尾競馬場内に野球場を建設	

1916(大正 5)年	04 月--日	高等予科入学式。この時の入学式演説をみるに安部磯雄は予科長として学生に次のような諸点を厳しく要求している。 一、欠席届は必ず出せ、それを怠れば徴兵猶予の証明は出来ない。 二、カンニングは見せた者も見た者も両者直ちに退校を命ずる。 三、教場内の禁煙厳守。 四、男女関係のふしだらから自分の歴史に拭いがたい汚点を作るな等。彼は文字どおり学生を一個独立の紳士として扱っていたことが偲ばれる。	【安部年譜】
1916(大正 5)年	5 月 14 日	留守軍、橋本勇二監督の下、明治法政を破る。留守部員、橋本勇二監督のもとで連勝記録を作る。	【二十五年史】
1916(大正 5)年	5 月 16 日	朝日新聞社編『野球年鑑』が創刊される。	
1916(大正 5)年	07 月--日	タゴール来校。	【安部年譜】
1916(大正 5)年	8 月 18 日	朝日新聞社主催全国野球大会、第三日目の白熱。	【朝日】
1916(大正 5)年	8 月 20 日	中等野球大会、慶応普通部が市岡破り優勝。	
1916(大正 5)年	9 月 30 日	対学習院、6-0 で勝利。(目白)	【二十五年史】
1916(大正 5)年	10 月 7 日	対法政、4-1 で勝利。(戸塚)	【二十五年史】
1916(大正 5)年	10 月 14 日	対明大、7-5 で勝利。(戸塚)	【二十五年史】
1916(大正 5)年	10 月 21 日	対ハワイ・セントルイクラブ、5-1 で敗北。28 日 5-1 で勝利。(以上三田)31 日 7-0 で敗北。(戸塚)1 勝 2 敗。	【二十五年史】
1916(大正 5)年	11 月 5 日	対明大、2-0 で敗北(戸塚)	【二十五年史】
1916(大正 5)年	11 月 12 日	移転した明大駒沢村グラウンドにて 3 回戦、1-1 引き分け。	【二十五年史】
1916(大正 5)年	12 月下旬	(~1 月)名古屋愛知一中運動場にて冬期練習。	【二十五年史】
1916(大正 5)年	--月--日	理工科応用科学科開設。	【HP学内】
1917(大正 6)年	02 月--日	河野、講師を辞す。	【五十年史】
1917(大正 6)年	02 月--日	河野安通志、早大講師を辞し、実業界へ。	【二十五年史】
1917(大正 6)年	4 月 14 日	対明大、10-0 で勝利。(戸塚)21 日 6-1 で勝利。(極東大会予選試合)	【二十五年史】
1917(大正 6)年	4 月 25 日	対法政、4-1 で勝利。(中野)29 日 8-1 で勝利。(戸塚)(極東大会予選試合)	【二十五年史】
1917(大正 6)年	4 月 27 日	読売新聞社主催、京都—東京間昼夜兼行の東海道五十三次駅伝競走(「駅伝」呼称の初め)。	
1917(大正 6)年	5 月 2 日	学校チームの代表となれる早稲田と倶楽部代表となれる横浜ナインと 2 戦して 2 勝し早稲田は全勝して極東大会の代表チームとなる。	【二十五年史】
1917(大正 6)年	5 月 8 日	フィリピン、支那、日本の三国連盟極東大会、芝浦で開催。日本で最初の国際競技会。	
1917(大正 6)年	5 月 10 日	同大会の為新設された芝浦埋立地の野球場においてフィリピン代表のフィリピン大学チームと極東大会野球戦が行われた。4-3 で早大勝利。翌 11 日の試合も連破(2-0)し、優勝した。	【二十五年史】
1917(大正 6)年	05 月--日	安部磯雄著「欧州社会学の現状」刊(泰山房)	【安部年譜】
1917(大正 6)年	6 月 30 日	第 1 回満州・朝鮮遠征(~7/2)引率者高杉瀧蔵。8 戦全勝。	【百年小史】
1917(大正 6)年	06 月--日	早稲田騒動おこる。(~10 月)	【一世紀】

1917(大正 6)年	7月3日	夏期休暇を利用し、押川先輩等の斡旋により、満州・朝鮮を旅行。内地チームの同地方への遠征の魁。前年の天狗倶楽部とともに満鮮野球界発展の烽火となった。3日大連着。撫順・長春・旅順を転戦し、朝鮮へ。高杉副部長引率。8戦全勝。	【二十五年史】
1917(大正 6)年	07月--日	安部磯雄著「子供本位の家庭」刊(実業之日本)	【安部年譜】
1917(大正 6)年	8月31日	早大、天野学長の任期満了で天野派と高田全学長波の紛擾激化(12月落着、早稲田騒動)。	
1917(大正 6)年	08月--日	朝日新聞主催で全国中等学校優勝野球大会が開始された。阪神鳴尾球場で開催	
1917(大正 6)年	09月--日	安部磯雄、早大理事に選任さる。	【安部年譜】
1917(大正 6)年	10月14日	対法政、9-3で勝利(神田橋グラウンド)、24日6-1で勝利、(同)11月13日5-0で勝利(同)	【二十五年史】
1917(大正 6)年	10月27日	対明大、1-0で勝利(戸塚)、31日1-0で敗北。(戸塚)、11月10日3-2で敗北(戸塚)、11日5-0で勝利(戸塚)	【二十五年史】
1917(大正 6)年	12月24日	台湾遠征。神戸出帆。安部磯雄部長引率。8戦7勝1敗。	【二十五年史】
1917(大正 6)年	--月--日	三大学に法政を加え四大学リーグ始まる	
1917(大正 6)年	--月--日	学生の政治運動の参加禁止を公示。	【HP学内】
1918(大正 7)年	1月12日	大阪の豊中で第一回日本フットボール大会。ラグビーは同志社、サッカーは御影師範優勝。大阪豊中運動場で開催。参加校はサッカー八校、ラグビー四校と、大阪毎日が報ず。	
1918(大正 7)年	1月21日	台湾遠征を終え、マニラにむけ出帆。安部部長は帰朝。マニラでは4勝1敗。	【二十五年史】
1918(大正 7)年	1月28日	マニラ遠征。5戦4勝1敗で優勝。カーニバル野球戦優勝盃を得た。	【二十五年史】
1918(大正 7)年	1月31日	「蹴球事始め」についてア式は高師でラ式は慶応、と朝日が両競技の我が国への導入について紹介。	
1918(大正 7)年	3月10日	東大野球部が創設、一高と最初の試合	【東京朝日】
1918(大正 7)年	4月6日	春期四大学リーグ戦。明治に1勝2敗。法政に2勝1敗(はじめて法政に敗れた)	【二十五年史】
1918(大正 7)年	4月6日	第11回一高対三高野球定期戦で、三高が横暴な輩を除くため一般観衆ナシで試合を実施。	【真説・明治】
1918(大正 7)年	4月10日	陸上競技・野球などで実業団チームの結成が盛ん、企業は社員の健康に着目、と新聞に。	
1918(大正 7)年	5月4日	対一高、7-0で敗北。投手内村の健闘。一高はこの年、三高、学習院、早稲田、慶応に全勝。	【二十五年史】
1918(大正 7)年	6月25日	東北・函館遠征。盛岡中学・函館海洋倶楽部・札幌農科大学等と試合をし、全勝。解散後各地中学のコーチに向った。	【二十五年史】
1918(大正 7)年	8月10日	軽井沢グラウンドならびに選手寄宿舎完成。開場式を行う。(飛田穂洲『早大野球部軽井沢運動場』讀賣新聞)始球式に大隈侯。	【二十五年史】
1918(大正 7)年	8月21日	全国中等学校野球、第三回優勝大会、愛知一中が関西学院降し優勝。	【大阪朝日】

1918(大正 7)年	9月5日	米国軍長官のプロ野球日程短縮命令で、早くもこの日からワールドシリーズが始まる。	
1918(大正 7)年	9月28日	四大学リーグ戦(8年度マニラ極東大会の予選をかねる)早明法の3大学間で行われ、早大は6戦4勝で優勝。しかし日本がリーグを脱退したため不出場。	【二十五年史】
1918(大正 7)年	10月--日	安部磯雄、高等予科長辞任。	【安部年譜】
1918(大正 7)年	12月6日	大学令が公布され、これにより慶應義塾、早稲田、同志社などの私学が大学となる。	
1918(大正 7)年	12月下旬	(~1月)豊中で冬期練習。	【二十五年史】
1918(大正 7)年	--月--日	一高内村、慶応から奪三振17の完封勝利春----日:一高大投手内村祐之、対最強チーム慶応戦で17三振の快投を演じ、話題に。	【真説・大正編】
1918(大正 7)年	--月--日	この年、鈴鹿商店で少年用野球ボール発売。少年野球流行し始める。	
1918(大正 7)年	--月--日	一高、早慶を破り、15年振りに学生野球の覇権を握った。	
1918(大正 7)年	夏-----	野球部の軽井沢合宿定期化する。	【安部年譜】
1919(大正 8)年	2月21日	早大で高津正道、浅沼稻次郎ら、民人同盟会結成(人民の中への運動)(10月18日浅沼ら脱退し建設者同盟結成)。	【安部年譜】
1919(大正 8)年	3月10日	安部磯雄、図書館長就任。(兼任)	【安部年譜】
1919(大正 8)年	4月6日	向陵の大野球戦。一高軍が再び三高に大勝す。	【朝日】
1919(大正 8)年	4月13日	大学連盟戦3回勝負に。早大4戦4勝。	【二十五年史】
1919(大正 8)年	5月11日	対一高戦、内村への雪辱をはたす。6-4で勝利。	【二十五年史】
1919(大正 8)年	06月--日	安部磯雄著「労働問題」刊(文明書院)	【安部年譜】

(年表データに関する著作権は本村慎悟氏に属します)